



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2015～16 年度テーマ

プロバスだより

第238号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2015年9月10日発行

編集・発行：情報委員会

仲間の輪を広げ、楽しみの環を広げよう

第 238 回例会

日 時：平成 27 年 8 月 13 日（木）12：30～14：30

場 所：八王子エルシィ

出席者：57 名 出席率 86.3%

（会員総数 67 名 欠席 9 名 休会 1 名）

会食とハッピーコイン披露

荻島例会委員長の進行で会食に入り、岩島寛副会長からハッピーコイン 24 件の披露があった。

（5～6 ページに記載）



1. 司会 荻島例会委員長

第 238 回例会開催告知と配布資料の確認



2. 挨拶 永井会長

こんにちは、大変暑い日が続いております。今日はお盆ということもありまして、ちょっと出席者が少ないかなという感じもしております。

さらに熱気が加わってきました 20 周年記念ですが、再来週には音楽観賞会が始まります。あと 2 ヶ月でレセプションと展示会が始まるということで皆



さんにはいろいろお手伝いいただかなければならないということもありまして、後ほどそのお願いがあると思います。よろしくお願い致します。

します。

ハッピーコインにもありましたように戦後 70 周年ということで、詔書の録音版が公開されたということなので皆さんで聞いて頂きたいと思います。

皆さんいろんな思いがあると思いますが、もう一度考えて頂き、文章にもなっていますので読み直していただくのも良いのかなと思います。

3. バースデーカード贈呈

7 月生まれの会員に、池田会員お手製のバースデーカードが会長から贈られました。左から八木、佐々木正、竹内、久野、大高、宮崎の各会員（敬称略）に手渡されました。おめでとうございます。



4. 卓 話

杜甫「春望」「国破山河在……」

の解釈について

石田 文彦会員

（1）はじめに

杜甫「春望」「国破山河在……」の「国破」は国の



敗戦の意ではなく、国政の乱れを意味するとする吉川幸次郎の解釈を紹介する。

(2) 吉川幸次郎・三好達治『新唐詩選』(昭和 27 年、岩波新書、18-19 頁)

著者の吉川幸次郎は京都大学教授の中国文学研究者、三好達治は詩人である。

春望 国破山河在 城春草木深 感時花濺淚
恨別鳥心驚 烽火連三月 家書抵萬金 白頭搔更短
渾欲不勝簪 (以後、斜字体は原文の引用を示す。)

この五言律詩は、杜甫 46 歳、安祿山の叛乱がおこってすぐあと、皇帝の朝廷とへだたり、疎開さきの家族ともへだてられて、ただ一人、叛乱軍の陣営に拘禁されていた間の作であるという。 補注①

「国破れて山河在り、城春にして草木ふかし」

「国破れて」とは、国家の機構が解体して、狂人が出たらめに鉄を入れた紙きれのように、ぼろぼろになってしまったことをいう。敗戦の意ではない。破(は)と敗(はい)とは、おなじくヤブレルと和訓するけれど漢語の本来の意味は同じでない。

しかし、山河大地は、そうした人間の不幸に超然として、確固として存在する。というほどの意味を「在」の一字が持っている。そうして「城春にして草木ふかし」。城郭にかこまれた町町に、春はことしも、めぐり来た。人間はその秩序をうしなっても、自然はあくまでもその秩序を失わない。人影もない城壁のほとり、草木は青青と、めぐみ、しげる。芭蕉が、「城春にして草青みたり」とこの句を引用するのは、記憶のあやまりであろうか、わざと改めたのであろうか。

補注① 唐の第 9 代皇帝玄宗は、その治世の前半は善政で唐の絶頂期を迎えたが、皇后の死後、息子の妻楊貴妃を溺愛して国政への意欲を失い、社会秩序は乱れ、安祿山の叛乱がおこった。

芭蕉が「春望」を引用したのは、「おくのほそ道」の平泉の項である。

(3) 萩原恭男校註 芭蕉『おくのほそ道』

(昭和 54 年、岩波文庫、40-41 頁)

平泉 三代の栄耀一睡の中にして、大門の跡は一里こなたに有。秀衡が跡は田野に成りて、金鶏山のみ形を残す。 補注②

先館にのぼれば、北上川南部よりながるゝ大河也。衣川は和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落入。泰衡等が旧跡は、衣が関を隔て、南部口をさし堅め、夷をふせぐとみえたり。 補注③

偕も義臣すぐって此城にこもり、功名一時の叢となる。 補注④

「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と、笠打敷て、時のうつるまで涙を落し侍りぬ。

夏草や兵どもが夢の跡 補注⑤

補注② 平泉を根拠地とした豪族、藤原清衡・基衡・秀衡の 3 代は、100 年にわたって奥州を支配し、栄華を極め、京都の朝廷に対峙した独立国家のような存在であった。

源平の争乱で活躍した源義経は、兄頼朝と不和になり、秀衡の下に潜伏したが、秀衡の死後、その子泰衡は頼朝の要求に屈して義経を殺害する。

しかしながら、頼朝は義経をかくまったことを理由に泰衡を討ち、奥州を支配下にいれ、1189 年に全国統治を果たす。すなわち、平安から鎌倉時代への移行である。

補注③ 高館は小高い丘の地名で、義経が龍居した城跡のある高館からの平泉の地形を記述。

補注④ 義経の忠臣武蔵坊弁慶は薙刀を振るって戦い、雨の様な敵の矢を受けて立ったまま死んだとされ、「弁慶の立往生」と後世に語り継がれた場面である。

補注⑤ 「兵どもが夢」は、「国破」に対応する。「兵ども」とあるように、芭蕉は「国破」を戦に負けると解釈している。

吉川はこの誤訳を念頭に『新唐詩選』を執筆したと推測される。「夏草」は季語であり、「山河」に対応している。

なお、芭蕉は、俳句では美しい・悲しい等の心情を表わす形容詞を極力避けるようにと主張しており、「草木ふかし」を「草青みたり」としたのは記述ミスではなく、改変したと考えるのが定説である。また、杜甫は現実の国政の乱れへの怒りを詠っているが、芭蕉は約 500 年前のことを詠嘆しており、日本文芸の伝統である無常観に貫かれている。

(4) ところで、「国破」を戦に負けるとの解釈を決定づけたのは、昭和 20 年 8 月 15 日の敗戦である。敗戦により、数百万人の海外在住の日本人が帰国し

た。当時、引揚者・復員者と称され、引揚船が舞鶴・下関港等に近づくと、日本列島の青々とした山河に涙を流して喜び、故郷では生まれ育った山河に癒された。「国破山河在」は当時の世相を表す流行語となった。

『合本 俳句歳時記』（平成 18 年、第三版、角川書店、987 頁）

国敗れたりし山河を鷹知れり

阿波野青畝

阿波野青畝は昭和期に活躍した俳人で、「国敗」と改変している。すなわち、当時、「国破」を国が戦いに敗れたとするのが一般的であった。

このような状況下で、昭和 27 年に『新唐詩選』が出版され、吉川幸次郎は「国破」は国の敗戦の意ではなく、国政の乱れを意味すると述べた。

（5）『広辞苑』（昭和 59 年、第 3 版、岩波書店、691 頁）では「国家は滅びてもとの姿はないが、山河だけはもとのまま存在する。」と記述されているが、発表者はこの記述に違和感を覚える。

小西甚一『俳句の世界—発生から現代まで—』（平成 7 年、講談社学術文庫、139 頁）

一方、中世・近世文芸を専門とする筑波大学教授小西甚一は吉川の解釈を基に芭蕉の句を論じており、専門家には吉川の解釈は周知されていた。

吉川幸次郎・三好達治『新唐詩選』（平成 20 年、90 刷、岩波新書）

なお、『新唐詩選』は名著としての誉れが高く、平成 20 年に 90 刷と、現在でも愛読されている。

（6）まとめ

杜甫「春望」「国破山河在……」の「国破」は誤訳されたが、愛唱され、日本の文芸・社会に影響を与えた。

5. 幹事報告 田中幹事

①いよいよクラブ創立 20 周年の集い及び音楽観賞会の段取りが着々と進んでおり準備ができつつあります。

10 月 18 日の集いは全員参加でお願いしたいと思います。9 月例会で恐縮ですが一万円の会費を徴収させて頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

②「今日は何の日？」8 月 13 日 88 年前 1927 年

第 13 回の全国中等学校野球大会で甲子園から初めて実況放送がなされた日だそうです。

花は「麒麟草」（きりんそう）。花言葉は「軽快」。

6. 20 周年記念事業実行委員会報告

杉山実行委員長



20 周年記念事業も余すところ 2 ヶ月になりました。お手元に三つ折りパンフレットと A4 版のチラシをお配り致しました。三つ折りパンフレットは吉田実行副委員長が数か月かけまして大変お骨おりました。立派なのが出来上がりました。宇宙展のチラシの方は山崎光子会員にお知恵やら技術等しっかり協力して頂き立派なのが出来上がりました。

この宇宙展については後ほど内山部門長から皆様への説明とお願いを申し上げます。

それでは 8 月 28 日の演奏会については立川部門長から、三つ折りのパンフレットの集いについては澤渡事務次長からご説明とお願いを申し上げます。

立川部門長



8 月 28 日の演奏会の準備も着々と進んでまいりまして、今日は当日お手伝い頂く方々にお集まりいただき大高会員から手順をご説明しました。

当日にならないとまだまだ分からないことが多々ありますが、短時間に集中すると思いますのでご協力をよろしくお願い致します。

車椅子については、付き添いの方を入れて 8 席を用意してあります。

7 月の例会ではたくさんのチャリティーをありがとうございました。本番でもよろしくお願い致します。

こうした皆さんからのご厚意によって、10 月 18 日開催の祝賀会には、いわき市の豊間中学校の校長先生のご出席を頂き、中学生文庫への蔵書の贈呈式をおこなうことになっております。

宇宙科学の本を中心に沢山お贈りできればと思っています。

澤渡事務次長



ハッピーコインのご報告の中、永井会長、田中幹事からも 20 周年について、皆様のご協力を頂きたいというお話を頂き大変心強く

思っております。どうかよろしくお願い致します。10 月 18 日に行われる創立 20 周年の全体像についてご説明したいと思います。

思い返しますと 20 周年事業につきましては、荒、土井、永井の三代の執行部にまたがって試行錯誤を重ねながら、委員会メンバーを中心としながらも多くの皆様のご協力を得て英知と労力を頂戴してこの段階にたどり着いたと感じております。従って今日から後 2 か月余、10 月 18 日までは如何にしてこの 20 周年を成功裡に終了することができるか会員 67 名の皆様の力を結集した形で実現できるようご理解とご協力よろしくお願い致します。

三つ折りのパンフレットをご覧頂きたいと思えます。このパンフレットは 10 月 18 日の式典にご参加頂きたい方々を対象に作り上げたものです。皆さまには本日お渡ししましたが、すでに 8 月の初旬から持参又は郵送を始めております。

発送先は八王子市、JAXA、KU-MA、ロータリークラブ、各プロバスクラブ、生涯学習サロンの受講者、当クラブ OB 会員等を中心にお送りしています。式典参加者は会員を含めて 160 名プラス α を見込んでおります。

イベントの内容は宇宙展、記念講演会、記念式典、パーティーを京王プラザホテル八王子 5 階 翔王の間で行います。

我々の役目はお出迎え、ご案内、受付、お見送り安全配慮、お客さまへのお心づかい等いろいろあると思いますが、我々自身もこの 20 周年を心からお祝いし、喜び、楽しみたいという思いを主眼に考え、同時にお客さまへの配慮もしなければならぬ、あれやこれやいろいろ求められますが、ぜひ全員が一致協力してこの事業が成功致しますように皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

今後の具体的な役割については全ての皆さんにいろんなお願いが各部門の担当から行くと思いますが

どうか快く受け入れていただき、ご協力よろしくお願い致します。

内山部門長

「輝く宇宙八王子展」開催実施要領について 3 枚綴の資料をお渡ししてありますが、それにつきましてご説明いたします。

開催場所：八王子駅南口総

合事務所多目的スペース

期 間：10 月 18 日～10 月 31 日の 14 日間

警備関係は八王子警備業協会に無料で派遣をして頂き、会場内の諸警備および来場者の安全管理をして頂きます。

会員の皆様方には誘導員、会場監視員として全面的なご協力を頂きたいと存じます。3 枚目の表でご協力頂ける空欄に氏名または○印をご記入頂き、本日又は次回の例会日にご提出をお願い致します。

皆様方にご協力いただかなければこの「輝く宇宙八王子展」は上手くいかないと思いますので、皆様方の絶大なるご協力よろしくお願い致します。



7. 委員会活動報告

(1) 例会委員会 荻島委員長

第 238 回例会出席者数・出席率の報告

(2) 情報委員会 土井俊雄委員長

「プロバスだより 237 号」をお届け致しました。今回の編集は前委員長河合会員によるものです。

(3) 会員委員会 馬場委員長

会長の運営方針の一つ“全員の協力で、会員の増強を図る”を受けまして、会員委員会内で議論を行い、会員増強施策の一つとして「一人一推運動の展開」をすることになりました。会員の皆さまの絶大なるご支援をお願い申し上げます。全会員にお願いしますが、特に在籍 10 年未満の会員さんには格別にご協力をお願いしたいと思います。

(4) 研修委員会 戸田委員長

報告事項なし。

(5) 地域奉仕委員会 飯田委員

アンケートにご協力お願い致します。生涯学習サロンの特別講師はほぼ決まりまして、ご依頼状をお

送りいたしました。

(6) 交流担当 浅川理事

10 月に開催される創立 20 周年記念式典に向けて準備をしているところですが、全員参加でよろしくお願い致します。

(7) 八王子「宇宙の学校」 澤渡会員

八王子「宇宙の学校」は 3 会場とも開校式を終えました。出席率 95% で大変好評でした。次回は 9 月から 2 回目以降になります。よろしくお願い致します。

支援の方も皆さんにご協力頂きました。ありがとうございました。

8. 同好会活動報告

茶道：川村会員

8 月はお休みします。9 月は 29 日に致します。

麻雀：荻島会員 8 月はお休みします。

カラオケ：杉山会員

関係者のボックスにお知らせ入れました。

9. その他

荻島例会委員長

例会の欠席者が多いのですが、欠席の場合には事前のご連絡をお願いします。

9 月の例会時に創立 20 周年の会費一万円の徴収があります。よろしくお願い致します。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会の挨拶 岩島 副会長

今日は先月と同様沢山のハッピーコインをいただきましてありがとうございました。

会長のご挨拶の中で 70 年前の 8 月 15 日の終戦の玉音放送を聞かせていただきました。私は当時 10 才でしたが、彷彿として思い出させて頂きました。

20 周年記念事業のひとつ音楽鑑賞会には全員出席でよろしくお願い致します。役員の皆様には大変ご苦勞様です。

速 報

「プロバスクラブ創立 20 周年記念

チャリティー音楽鑑賞会」の報告

2015 年 8 月 28 日海上自衛隊東京音楽隊のチャリ

ティー音楽鑑賞会を開催いたしました。

プロバスクラブの受け持ちました 800 席は殆ど満席状態で、素晴らしい演奏や、独唱に、会場の皆様は大変満足をして頂きました。アンコールの「軍艦マーチ」では、手拍子手拍子で舞台と会場が一体となりました。

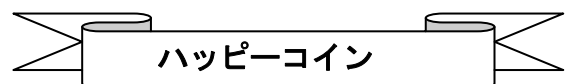
当日は 20 名余の皆さんに、早くからお手伝いに出て頂きまして、本当に有難うございました。受付も整理もスムーズに事が運び、トラブルもなく無事終わることが出来たことを感謝いたします。

チャリティーへのご協力は、合計で 311,157 円にもなりました。クラブの皆様のご協力、ご来場の皆様も 1 コインと言いながら募金箱に入れてくださいました。本当に感謝でございます。

10 月 18 日の祝賀会に、いわき市立豊間中学校の高浜校長にご来駕頂きまして「中学生文庫」の贈呈式をいたします。宇宙科学の本を中心に 1 冊でも多くお贈りしたいと、これから書店にお願いし、祝賀会までに生徒のみなさんの手元に届くように手配をいたします。以上ご報告を致します。

記念演奏会プロジェクト

代表 立川富美代



◆沖縄に行って来ました。つかれました。

岡田 尚

◆MARS の心配がなくなったので韓国の扶余へ百済の遺跡の旅に行って来ました。韓国も暑かった。

野口 浩平

◆高校野球 100 周年おめでとう。

西東京大会で、めずらしく母校が 3 回戦進出。八王子市民球場で応援してきました。 永井 昌平

◆八王子市は東京都市町村体育大会で 9 年連続優勝 (9 連覇) を達成しました。

八王子市体育協会は来年創立 70 年を迎えますが、その記念の年に市町村体育大会 10 連覇達成を目指して 2 万 3 千人の会員が一丸となって頑張っています。応援してください。 岡部 治

◆先月骨折で入院。その後、骨やすめの日々です。

皆様も転倒にはお気をつけください。古川 純香

◆今日も元気で頑張りましょう。 川村 真

◆大学院在学中の孫息子の就職が内定しました。

バアバは一安心です。 立川富美代

◆猛暑の中標高 1,200mの小淵沢CCで夫と息子と孫娘（中学2年）の4人でゴルフをしてきました。練習場以上の数を打ってもハッピーでした。

飯田富美子

◆暑い日がつづいております。皆様身体に気をつけて。

荒 正勝

◆お祭りも無事終わりました。 戸田 弘文

◆我が家の墓所は遠い富士霊園です。猛暑ですのでこのお盆は池袋の寺院で供養することにしました。孫子たちに戦後70年をしっかりと伝えたいと思います。

山形 忠顯

◆共同通信が全国各地の地方紙に配信している「戦後70年」シリーズで父のこと（自分史）が全ページを占める記事となりました。

橋本 鋼二

◆70年前の終戦時9才だった私が、79才になれたことの幸せを味わっています。

土井 俊玄

◆八王子平和展無事終了しました。来年に向けて反省中です。ご意見お聞かせください。いつもご協力ありがとうございます。

廣瀬 智子

◆70年前の8月、八王子大空襲で、母と共に浅川を逃げ惑ったあの日を思い出しています。平和の有り難さ、大切さを噛みしめています。

杉山 友一

◆8月5日83才の誕生日を迎えました。ハッピーです。

竹内 賢治

◆70歳代 最後の誕生日をむかえます。宜しく。

宮崎 浩平

◆たくさんの方々のおかげでやっというかついに傘寿に到達することができました。いろいろな加齢現象と仲良くしながら頑張ります。

佐々木 正

◆今年も元気でバースデーカードを頂ける喜びに感謝。

大高 秀夫

◆今月は海自バンドに会える、ラッキー！

浅川 文夫

◆海上自衛隊音楽隊演奏会のチャリティーを有難うございました。少しでも多くの本を中学生に贈ります。本番が終り9月例会に結果を報告します。

立川富美代

◆全会員の結束で20周年記念事業を成功させよう。又、会員のハッピーコインに協力しよう！

荻島 靖久

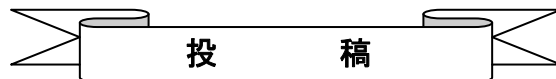
◆20周年記念行事の準備が整ってきました。

「20周年のつどい」への全員参加を期して。

田中 信昭

◆ドイツに行き、孫を連れて国際特急列車でアルプスを越えイタリア・ヴェニスに行きゴンドラを楽しめます。

岩島 寛



千貫神輿

宮崎 浩平



今年の「八王子まつり」は8月7日～9日例年の通り行われた。古くから伝承されてきた「まつり」八幡、八雲神社の「下の祭」と多賀神社の「上の祭」が中心に毎年8月に行われている。

八王子の「祭」の上、下の境界線は、私の住んで居る大横町（国道16号線）を挟み区分されている。古来より道路の東側は八幡、八雲神社の氏子であり西側は多賀神社の氏子とされている。そのため、私の住む大横町は両社の祭事に関わっており、二人の両者の氏子総代がいる。私は3年前より多賀神社の氏子総代を司っている。「千貫神輿」については、八王子市の指定有形文化財として、多賀神社の例大祭の渡御神事として継承されてきた。現在の神輿は、1882年（明治15年）東京浅草で建造、総檜造り、高さ2.5m、重さ3,700kg、関東でも屈指の規模を誇る。1977年大修理を行い、以来「八王子まつり」のクライマックスを飾っている。

御神輿の渡御の行事は二日間に渡って行われる。最初の日には氏子町内、渡御である。早朝より多賀神社の神殿で大祓いや、玉串奉奠をおこない、氏子達の社務所を廻って御飯屋に納まる。当日、私達氏子は、朝早く昇殿行事のため身を清め、神社の社務所に行き、白装束に着替え、そのうえに袴、袴を着付け、昇殿の準備を行う。

例大祭神事は雅楽、巫女を先頭に、宮司、責任役員、顧問、各町氏子総代、各町町会長、氏子委員、多賀睦委員、年番頭達の順に並び、多賀神社境内をまわり、昇殿する。お祓いの儀、宮司祝詞奉上、氏

子祭詞奉上、玉串奉奠等を行う。儀式を順次行い、責任役員、多賀睦代表、頭の木遣り、頭、多賀睦の若衆により宮出し。ここから、各町内の神輿氏子渡御が始まる。

私達大横町の渡御は、平岡町に続き 4 番目であり、急遽、町内の社務所に戻り、神輿の到着を待って、渡御儀式を行う。給食の後、神輿を次の氏子町会本郷町に渡すため同行し送りとどける。神輿は各々の氏子町会の者に引き継がれ、最後に八幡町の御飯屋



に入る。これで当日の儀式は終了する。

翌日、担ぎ渡御はメイン行事である。昨日と同じに、白装束に袴、袴を着付け頭に野帽子を被り、神輿渡御の出発点である追分の交差点に午後に集合。西日の利いた甲州街道を、太鼓、高張提灯、宮司、責任役員、各町氏子総代、氏子委員、頭、多賀睦若衆等が神輿を先導して出発する。

千貫神輿は多賀睦や地元町会氏子の若衆が神輿の近くを担ぎ、その外側に氏子以外の他のグループが幾重にも取り巻き、ソヤー、ソヤーの掛け声に乗って、甲州街道いっぱい練り歩く。所要時間 2 時間。途中八木町、八幡町上で交代はあるが、担ぎ手の多くは好い担ぐ場所を求めて、必ずトラブルが生ずる。



去年は派手なトラブルが数箇所でおこったが、今年は一か所ちょっと揉めただけであり、大体平穏にして最終場所に納まった。

「頭」の音頭で手打ちを行い、千貫神輿の渡御の行事も祭の余韻を残しながら大事なく無事に終えることができた。



「戦後 70 年を機に」

廣瀬 智子



昭和 20 年 (1945) 8 月 2 日、あれから今年は 70 年になります。忘れもしない、小学校六年生の夏でした。

八王子空襲は、2 日未明、B29 爆撃機 169 機が飛来し、約二時間にわたるものでした。

万町と小比企町の境、長房町と続き、次々に市内に焼夷弾が投下されました。そして、450 名以上の死者、多数のけが人が出、旧市街中心部の大部分が焼失しました。

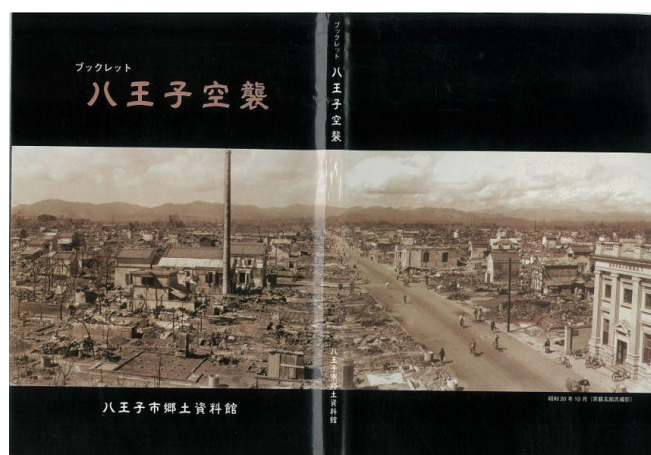
毎年、八王子市と平和展実行委員会では、「子どもたちに伝えたい この思い」をテーマに「平和展」

を8月2日を中心に学園都市センターにおいて開催してきました。

内容としては、会場には戦災パネルや戦災資料、市内小中学生の平和をイメージした絵、広島・長崎の原爆についての写真やパネル、国際協力活動等の展示、講演会、紙芝居、語り部等が実施されました。南口総合事務所多目的スペースでも同時展示してきました。

8月2日の講演会（上映会）は、中央大学総合政策学部の松野良一教授による「戦争の記憶をつなぐ」でした。若い世代に伝わりにくくなっている現在ですが、それは、遠い過去の出来事、リアルな感覚がなく、記憶に残らないという問題がおきました。それを学生が取材し、自分が主体になるという追体験を実施し、DVDの制作がなされました。「八王子空襲」～五人の証言～により、視聴者の印象に残りやすいということが制作の意図でした。

戦争を知らない世代が大半を占める現在、戦争の実際をどのように伝えていくかということは、なかなか困難です。その上、体験者や語り部の高齢化が進んでいること、戦跡が風化したり、開発などにより消滅していることがあげられます。



戦跡は、保存と公開など意識して行動していく必要があります。

平和な時代と戦争の時代、この二つをつなぐ伝え方の工夫やアイデアが必要になってきています。戦後70年を機に思いを新たにしなければと深く感じています。

参考文献 「ブックレット 八王子空襲」
八王子市郷土資料館
「八王子空襲～五人の証言～」
中央大学 FLP 松野良一ゼミ

俳句同好会便り

私の一句～8月の句会から

河合 和郎

今年は戦後70年の節目の年に当たる。俳句や詩歌の世界でも戦争にまつわる多くの作品が発表されている。プロバス俳句同好会に皆さんも例外ではない。そんな幾つかを交えて今月の一句を紹介する。

子よ孫よ三猿ならじ敗戦忌 山形 忠顯

戦争のない平安な国を守るためには「見ざる聞かざる言わざる」ではダメと子や孫に諭す。

灼熱を叩き出したり大夕立 石田 文彦

上手い句。中七の措辞がいい。連日の炎暑地獄を「大夕立が叩き出す」とはまさに痛快な表現。

大夕立野面を薙ぎて奔りけり 池田ときえ

高点句。男性的な力強い句。野面をなぎ倒し奔る大夕立の迫力ある姿がうまく詠めた。

禅僧の修業と畑の草を引く 田中 信昭

高点句。真夏の草取りは厳しい農作業の一つ。禅僧の修業の積りでと悟りの心を詠む作者。

息子らに語り尽くさむ敗戦忌 飯田富美子

戦争の愚かさを、平和の大切さを語り継ぐのは今をおいてない。日本が永遠の戦後であるために。

蛭とぶ故郷をテレビで懐かしむ 立川富美代

懐かしいふる里がテレビに映っている。思わず見とれてしまう。日常の体験を一句にまとめた。

迎え火や風のそよぎに影ゆれる 馬場 征彦

しっとりとした一句。祖先の精霊を迎えるために焚く炎の影に、懐かしき先祖様の姿が浮かぶ。

仏壇にアメリカ産のさくらんぼ 渋谷 文雄

仏壇とアメリカ産のさくらんぼの取り合わせが絶妙。作者の優しい心遣いも伝わって来る。

夕風と語らい居りぬ軒風鈴 河合 和郎

夕風が風鈴を鳴らしている様は、まるで「風と風鈴」が言葉を交わしているようでもある。

編集後記 戦後70年 各地で追悼の行事が行われましたが真珠湾での長岡花火の白菊は平和への架け橋になったように思います。永遠に平和が続くことを願います。

情報委員会・有泉裕子